

本号では、益世地区における高齢者の生活支援活動を主体とした取組み、及び益世地区社会福祉協議会における活動の現状を報告いたします。

超高齢化時代に備えて

戦後のベビーブーム期に誕生した世代が、70歳代後半の年齢に達する「超高齢化社会」を控え、益世地区では平成27年度から他地区に先駆けて、この問題の検討を開始しました。（2025年問題）特に、高齢者の生活支援体制が課題となり、自治会連合会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会の共同テーマとして、「地域の支え合い体制づくり」の検討に取組み、平成29年度には「益世支え愛の会」を発足させ、現在も最重要のテーマとして活動を継続しているところです。

益世地区社会福祉協議会では、地域の様々な団体や個人の方々のご協力を得ながら、現在も「地域住民同士が支え合い、住みやすい地域づくり」に取り組んでいるところです。

少子高齢化の進展などによる社会情勢の変化により、世代を問わず日常生活での困り事が増えてくることが想定されます。そのため、「自助」と「互助」が重要となってきます。

これまで以上に一人ひとりの力をお借りし、大きな力として問題解決に取り組んでいきたいと考えております。今後も更なるご支援とご協力を、よろしくお願いいたします。

益世地区社会協議会 会長 近藤 清二

“できる人が、できる時に、できることを” を合言葉に、ご参加を！

＝ 地域ぐるみでの子育てを進めています！ ＝

にこにこ広場：益世地区の未就学児のお子さんと保護者の方が、自由におもちゃで遊んだりお話ししたりと、気軽に参加できる場所です。他の子が遊んでいる様子に興味をもって一緒に遊んだり、マイペースに色々な遊びを試してみたり、相手に向かって声を出したり、その声にビックリしたり、まだ動き回れない赤ちゃんも参加されています。

子育ての悩みや喜び、子育ての情報を共有したり、ボランティアスタッフも少しでも地域の皆さんに寄り添って、応援していけたらと思って運営しています。



益世地区の年齢構成(R5. 3月末現在)

単位：人

年齢構成		男	女	合計(構成比：%)
益世地区 (再)	0～14	509	488	997 (12.7)
	15～64	2362	2334	4696 (59.7)
	65～74	411	483	894 (11.2)
	75～	490	799	1289 (16.4)
	益世地区計	3772	4104	7876 (100)
桑名市	0～14	8825	8383	17208 (12.4)
	15～64	43170	40863	84033 (60.4)
	65～74	8317	9182	17499 (12.6)
	75～	8548	11881	20429 (14.6)
	桑名市計	68860	70309	139169 (100)

注：益世地区の高齢化率は、65～74歳では市より▲1.4%で、75～では+1.8%であった。

【益世クイズ】

- ①益世地区の70歳以上の独居世帯数は？
- ②益世地区の高齢化率(R4, 3末)は？
- ③益世小学校の生徒数は？(R5年度)
- ④益世小学校は今年で創立何年？
- ⑤益世社協が行っている支援活動(有料)の名前は？
あなたは、何問正解できましたか？ ご家族にも、問題を出してあげて下さいね！ ⇨回答は裏面です！

益々元気体操の会

令和5年は、コロナ感染症の管理が5類に移行されたことを受けて、長期間休まれていた会員さんが、再加入されました。

行政機関の「子育て支援」の影響で、学童保育利用の増加により、夏休みの間は土曜日の開催に変更いたしました。猛暑の日々にもめげず、毎回15～20名の方々が汗をぬぐいつつ、元気に参加いただきました。

今年はお誕生日会を再開し、その際にコメントをいただきました。

そのコメントは・・・

- いろいろ入ったお菓子のプレゼントが、楽しめて嬉しかった。
- 皆に祝ってもらえて、嬉しかった。
- 体力が続く限り、長く続けていきたい。 等々

益々元気体操は、8割が椅子に掛けて行う形態です。これまでのフレイル予防に加えて、楽しく動けるゲームなどを取り入れたいと考えています。

令和5年度の開催状況：対前年度

単位：回／人

項目	月	4	5	6	7	8	9	計	備考
R5	開催回数	4	4	4	5	3			R5. 9は、締め切りの関係で未定
	参加人数	93	100	107	101	51			
R4	開催回数	4	3	5	4	4	4	24	
	参加人数	88	69	98	77	72	73	477	

▲ R5. 5月に5類に移行

開催模様



益世クイズの答え：①332世帯、②27.7%、③388人、④148年、⑤益世支え愛の会

歌謡・マジックショー

人気コーナー

宅老所「さんさん」が平成13年8月に開設され、平成14年8月から21年あまり続いている、長期コーナーの一つです。

講師は、昔会社勤務時のサークルで弾いていたバイオリンを奏で、唱歌・歌謡曲、時にはハーモニカも演奏。小学校の音楽室から聞こえてきた素朴で懐かしい「みかんの花咲く丘」、歌謡曲の「青い山脈」や「だんな様」などの演奏に聞き入ったり、手拍子をしたりして楽しいひと時を過ごしております。

近頃は、漢字脳トレも加わり簡単な問題から難読漢字もあり、首をかきあげているとヒントが出され、参加者全員で楽しく勉強したりして、楽しんでおります。講師の大森さんは、当年91歳のご高齢ですが「少しでも皆さんに楽しんでいただくことが、私の元気の秘訣！」と話してみえます。

演奏風景



皆さんもぜひ一度、ご参加してみてもは如何でしょうか？

今後の予定等

宅老所「さんさん」今後の開催予定 令和5年10月～12月

10月

3日 歌謡・マジックショー 10日 大型紙芝居 フレッシュ153
17日 ギター演奏 24日 音楽療法

11月

7日 歌謡・マジックショー 14日 大正琴演奏
21日 栄養とは(管理栄養士) 28日 音楽療法

12月

5日 ミュウジックベル演奏 12日 すまいる(軽い体操)

☆益々元気体操の会 毎週水曜日10:00～ 会員に限定で開催
☆にこにこ広場 10月26日・11月9日・12月14日 10:00～

新型コロナウイルス感染防止対策のための対応に、ご理解いただきましてありがとうございますこと、厚く御礼申し上げます。

引続き、状況を見定めながら、その都度ご案内(実施、休止等)させていただきますので、ご了承下さい。